

パブリックコメントに対する回答

コメント提出者(敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	検査機関技術委員会承認内容 (凡例 :採用、 :修正等、× : 不採用)
山本 丈夫 (コンサルタント)	5.1 5.2	1 1	G/T	検査員の現地評価を内部監査で実施する要求については異論ありませんが、17020 の 7.7, 7.8 項の指針としては、以下の点で、妥当ではないと考えます。 本指針では、検査機関は、現地の内部監査を検査員の評価のみに限定することが想定されるが、独立した監査員が現地へ出向いて行う内部監査の基準としては、内容が不足していると考えます。 検査サービスを製品として、その信頼性を基に認定する基準であるから、現地での検査プロセス全体を対象とした内部監査を要求することがより重要であると考えます。	現地での内部監査の内容として、現地での検査プロセス全体を対象とするように記述することを提案します。例えば、 「内部監査計画には、現地における検査プロセスを含めること」 また、本案の検査員の評価に関する記述は、17020 の 8.2 又は 8.3 項の指針としてそのまま移す(てにをはの変更は必要ですが)ことを提案します。	× : 内部監査は検査員のみに限定するものではなく、17020 7.7 にあるように規格の基準への適合性及び品質システムの有効性も含まれます。 内部監査とは別に RI300(IAF/ILAC-A4:2004) 6.4a, 6.4b, 6.4c, 6.4d, 6.4e で現地での検査のパフォーマンスも含めて検査の監査が求められており、現地での検査プロセスは、その部分で評価できます。
山本 丈夫 (コンサルタント)	6.1.5	5	T	“米国の ASME 等のような制度による要員認証” という表現は、不正確です。ASME の規格で規定している中に、非破壊検査員を認証する制度として適用されるものは無い、言い換えると、ASME は要員認証を行ってはいないはずです。 また、米国非破壊検査協会(ASNT)の基	もし ASME を使う場合には、“ASME 規格による工場認定制度で引用されている ASNT の SNT-TC-1A のような基準に基づく技量評価” などに変更することを提案します。あるいは、“米国の ASNT 等のような基準に基づく技量評価” などに変更する	:RI321 6.1.5 の第 2 段落「ASME 等のような制度による認証制度に規定され、使用されている各 NDT 方法の適切なレベルに対する要員認証を保有していることが望ましい。」を以下のように修正します。「ASME 等の規格による制度で引用されている ASNT

注：コメント区分には、必ず「G(全般に関するコメント)」、「T(技術的コメント)」、「E(編集上のコメント)」又は「Q(質問)」の区分をご記入ください。

コメント提出者（敬称略）	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	検査機関技術委員会承認内容 （凡例：採用、：修正等、×：不採用）
				準では、ASNT による公的な要員認証制度としては Level III のみであるはずで す。	ことを提案します。	（ The American Society for Nondestructive Testing, Inc. ） 等の基準に基づき、使用されている各 NDT 方法の適切なレベルに応じて検査員の力量が承認されていることが望ましい。」 第 3 段落「検査員が上記のような制度による要員認証を保有していない場合には」を以下のように修正する。「検査員が上記のような力量評価を受けていない場合は」

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。